

「環境とビジネス」テーマに

桃山学院大で講義

具長 工一 喜石 武社

「昨年に引き続いて非常勤講師を務めさせていただくこととなった」と語るのは輸入・国産工具専門商社の喜一工具（本社・大阪府東大阪市）の石川武社長。

「106名の若者を前に自分のこれまでの経験と思いを伝えていきたい。我々を取り巻く現状を深く知ることによって、環境活動や事業活動を通して自らが起業する時や就職先でプロジェクトに参加しリーダーシップを発揮する時にそのビジネスの中に環境への取り組み

をどうデザインしていくかという視点を持つ力を養ってほしい」と続ける。「一方的な講義ではなく、自分ならどうするかを常に考えながら授業に参加して興味を持って社会を見るきっかけになることを願っている」とも。

同氏は、大阪市阿倍野区の桃山学院大・大阪・あべのキャンパスのビジネスデザイン学部一般教養科目前期課程「環境とビジネス」の非常勤講師として1、4年生の学生を対象に4月から7月まで計15回講義を担当している。

同大では、チームでコミュニケーションをとりながら新たなビジネスの仕組みを創造し社会の変化に対応できる人材の育成を目指し、ビジネスデ

ザイン学部を開設。企業人とともに学ぶPBL（課題解決型学習）を導入し、企業・行政・団体と連携した授業や実践型教育を行っている。

2024年には情報ツールを活用して新たなビジネスモデルを作ることができる人材を育成する情報テクノロジーコースを開設するなど特色ある教育を行っている。

石川氏が担当する「環境とビジネス」では、こ

れまで経営者として取り組んできた健康経営や環境活動事例を紹介しながらSDGsやESG投資、環境認証基準など企業が環境活動に取り組む必要性について学びを深めていく。

また、その講義を踏まえて企業の環境活動事例や自らが起業した場合のビジネスでの環境活動への取り組みについて学生らが発表・ディスカッションする。



講義する石川武氏



講義のもよう